

コード No. 18901

**Anti-Human
GLUT-1 Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

GLUT: Glucose Transporter

はじめに : グルコースが細胞膜を通過して細胞内に取り込まれるためには、グルコーストランスポーター (糖輸送担体) と呼ばれる膜タンパクが必要です。グルコースの輸送はエネルギー依存性の「能動輸送」と、細胞内外のグルコース濃度差に基づく「促進拡散輸送」に大別されます。促進拡散を担うグルコーストランスポーターには、現在 13 種類 (GLUT-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8, -9, -10, -11, -12, HMIT) が報告されており、分子量約 50 kDa で、細胞膜を 12 回貫通する共通した構造を持っています。しかし、アイソフォームごとに組織分布、細胞内分布や糖に対する親和性が異なっており、それぞれが独自の特徴を有しています。GLUT-1 はグルコースに対して高親和性 (K_m 1~5 mM) で、ヒトにおける分布は赤血球、胎児組織、脳、腎、がん化組織などが報告されています。

免疫抗原 : Human GLUT-1 の C 端部分合成ペプチド (SDKTPEELFHPLGADSQV)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 約 1 µg/mL にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定 パラフィン包埋切片, 前処理なし)

: ウェスタン・ブロッティング 約 1 µg/mL にて使用可能

特異性 : Transfectant 細胞にて確認

参考文献 : 1. Maher F, Vannucci SJ, Simpson IA. Glucose transporter proteins in brain. FASEB J. 1994 Oct;8(13):1003-11. Review.

コード No. 18901

**Anti-Human
GLUT-1 Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 10 µg

GLUT: Glucose Transporter

はじめに : グルコースが細胞膜を通過して細胞内に取り込まれるためには、グルコーストランスポーター (糖輸送担体) と呼ばれる膜タンパクが必要です。グルコースの輸送はエネルギー依存性の「能動輸送」と、細胞内外のグルコース濃度差に基づく「促進拡散輸送」に大別されます。促進拡散を担うグルコーストランスポーターには、現在 13 種類 (GLUT-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -8, -9, -10, -11, -12, HMIT) が報告されており、分子量約 50 kDa で、細胞膜を 12 回貫通する共通した構造を持っています。しかし、アイソフォームごとに組織分布、細胞内分布や糖に対する親和性が異なっており、それぞれが独自の特徴を有しています。GLUT-1 はグルコースに対して高親和性 (K_m 1~5 mM) で、ヒトにおける分布は赤血球、胎児組織、脳、腎、がん化組織などが報告されています。

免疫抗原 : Human GLUT-1 の C 端部分合成ペプチド (SDKTPEELFHPLGADSQV)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN_3 含有 PBS 0.1 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.1 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 約 1 µg/mL にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定 パラフィン包埋切片, 前処理なし)

: ウェスタン・ブロッティング 約 1 µg/mL にて使用可能

特異性 : Transfectant 細胞にて確認

参考文献 : 1. Maher F, Vannucci SJ, Simpson IA. Glucose transporter proteins in brain. FASEB J. 1994 Oct;8(13):1003-11. Review.